

取扱説明書

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書と別冊の取扱説明書（安全上のご注意）をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



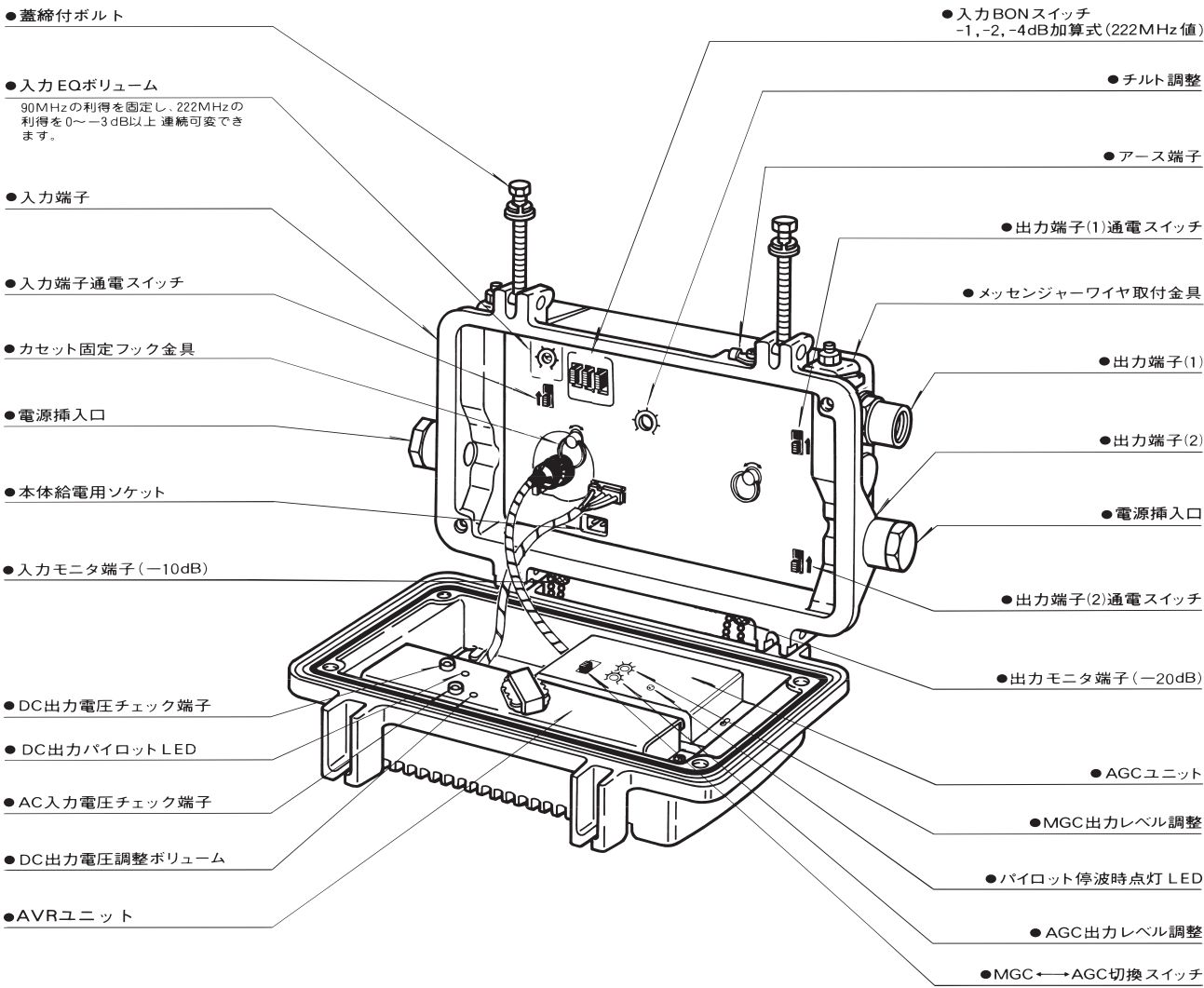
このたびはDXアンテナ製品をお買上げいただきまことにありがとうございます。

VHF帯懸架形AGC付幹線2分配増幅器 (70～250MHz帯) TA-3011A (NHK形名 NH-TA2G形)

●特 長

- IC採用による高規格設計。
- 全端子通電可能。
- EQ回路、チルト調整、BONの内蔵で幅広い利得調整が可能。
- アルミダイカストケース、防水形コネクタ等の使用により防水は確実。
- 電源部はスイッチングレギュレータにより安定したDC電圧を確保。

●各部の名称・操作



詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

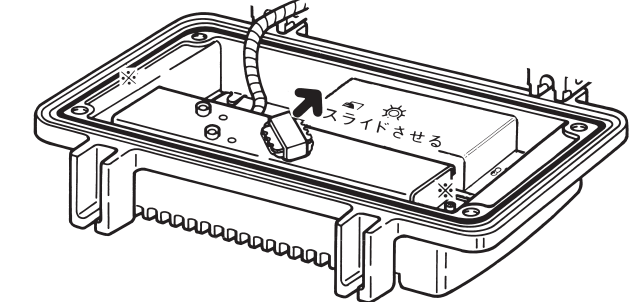
・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)	・三重出張所 TEL.(059)226-1643(代)	・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343(代)
・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830(代)	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)	・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)	・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代)	・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)	・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131(代)	・木更津出張所 TEL.(0438)23-6281(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
・東京支店 TEL.(03)3526-5402(代)	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)	・長崎出張所 TEL.(095)842-0780(代)
・東京東出張所 TEL.(03)5654-9881(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)	・神戸支店 TEL.(078)579-8550(代)	・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)	・中部支店 TEL.(052)919-6531(代)	・姫路出張所 TEL.(079)283-5920(代)	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)	・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)	・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)	・豊橋営業所 TEL.(0532)57-2133(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)	・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

(2010年2月現在)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19番地 秋葉原ビルディング8F TEL.(03)3526-6327(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00(土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始休暇は除く)
ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

●AVRユニットの交換方法



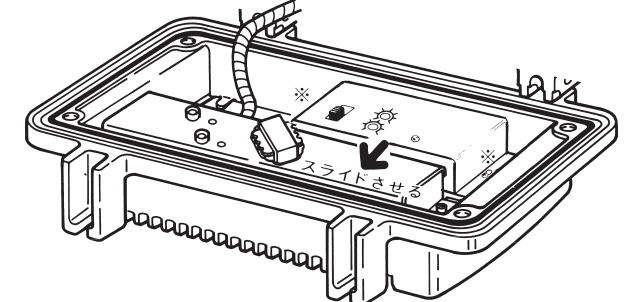
- 交換される場合は、必ずすべての通電切換をOFFにし、カセット部に接続されたプラグを抜いてください。
- つぎに※印で示された2本のネジをゆるめ矢印の方向にスライドさせてユニットを持ち上げると簡単にはずれます。
(セットされる場合は逆の作業を行ってください)

●取付方法

メッセンジャーワイヤへの取付

- 図のように2カ所のメッセンジャーワイヤ取付金具でしっかりとメッセンジャーワイヤ (14～38mmφ) に取り付けてください。

●AGCユニットの交換方法



- 交換される場合は、必ずすべての通電切換をOFFにし、カセット部に接続されたプラグを抜いてください。
- つぎに※印で示された2本のネジをゆるめ矢印の方向にスライドさせてユニットを持ち上げると簡単にはずれます。
(セットされる場合は逆の作業を行ってください)

電柱への取付

- 図のようにM形金具PY-102 (別売) に自在バンド (市販品) を通し、電柱にしっかりと取り付けてください。
(M形金具は別売となっております。また自在バンドは市販のものをご使用ください)

板壁面への取付

- 壁面取付金具PY-101 (別売) を4本のボルトでしっかりと本体に取り付けてください。
つぎに、大形の本ネジ4本 (市販品) で図のように壁面に取り付けてください。

(M形金具、壁面取付金具は別売となっております。また本ネジは市販のものをご使用ください)

※増幅器は水平、垂直の傾きがないよう注意して取り付けてください
また増幅器へのケーブルの接続はケーブル付設後約1週間を経ってから行なってください。

●カセットの交換方法

- 交換される場合は、必ずすべての通電切換をOFFにし、カセット部に接続されたプラグを抜いてください。
- フック金具のネジをゆるめ、上へ引き上げるとカセットを取り出すことができます。
- セットする場合はカセットをケース内に正しくはめ込み、両端を軽く押し込みながらフックの金具のネジをしっかりと締め付けてください。

●接栓の防水方法

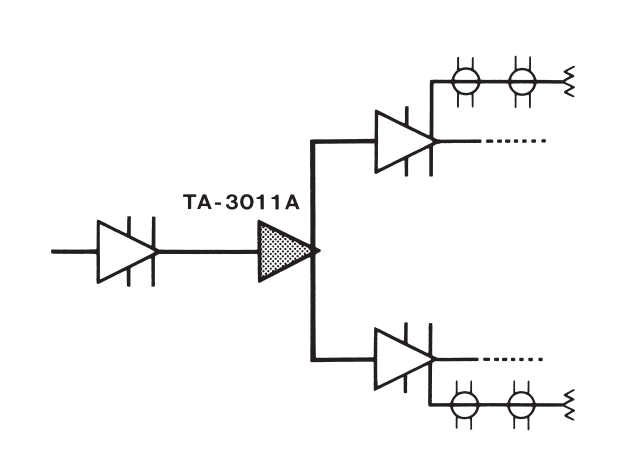
- 指でよくおさえ、融着を促進させます。
- ビニルテープを自己融着テープの上から巻き、自己融着テープ同様に指でよくおさえてください。

●F形接栓の場合も同様にテーピングしてください。

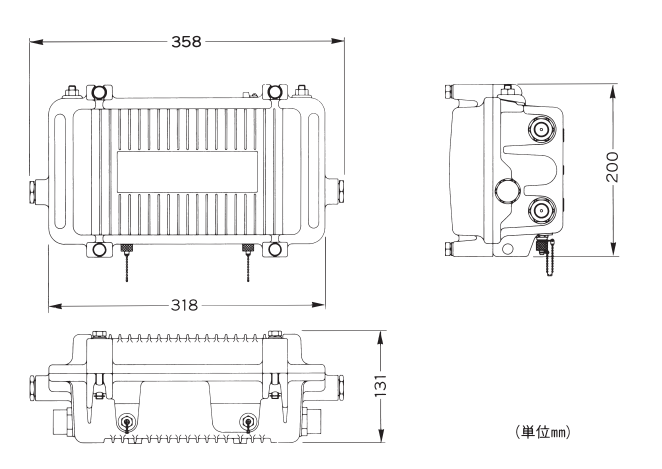
●取扱上のご注意

- 本器の入力電圧はAC20～30Vですので必ずテストでチェックしてください。
- 各端子の電流量は3A以下になっていますから、必ずこれ以下でご使用ください。
- 増幅器本体を1.6φの銅線でアースしてください。
- 調整の際、雨水が増幅器内部に入ったときは、水分をよく拭きとってから蓋をしてください。
- 脱落防止のため、蓋締付ボルトは十分に緩んだ後(約2回転後)は手で緩めてください。
- 蓋をする場合、防水パッキンに付着したゴミ等を拭きとり、電源コード等をはさみ込まないよう注意して行なってください。蓋締付ボルトの締付トルクは1200N・cm (約120kgf・cm) で均一にしてください。
- 防水パッキンにはシリコングリスなどを塗布しないでください。
- 同軸給電をする場合は別売の同軸給電用アダプタPY-109 (3A用) をご使用ください。
- フィッティングをF形に変換される場合は別売のFRアダプタ (フィッティングーF形座変換接栓) FR-2をご使用ください。

●システム使用例



●外形寸法図



●規格特性

周波数帯域 (MHz)	70～250	※2 混変調 (dB)	－46以下 (7波)
※1 標準利得 (dB)	23/14.5	ハム変調 (dB)	－66以下
利得調整範囲 (dB)	±3以上	チルト特性 (dB)	－8.5 (222MHzに対し90MHz値)
※1 標準出力レベル (dBμ)	92/83.5	不要放射 (dBμ/m)	34以下 (IEC法による)
利得安定度 (dB)	±1以内	耐電性 (kV)	±15 (1.2 / 50μs)
帯域内周波数特性 (dB)	±1以内	使用温度範囲 (℃)	－20～＋40
A G C 特性	入力69dBμ±5dBで出力88dBμ±2dB以内 (148MHz値)	電源 (V)	AC20～30 (50/60Hz)
雑音指数 (dB)	10以下	消費電力 (VA)	18 (AC30V時)
入出力 V S W R	2以下	接栓容量 (A)	3以下
※2 相互変調 (dB)	－55以下	質量 (kg)	5.0

※規格は改良により、変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
※1 標準利得、標準出力レベルは222MHz/90MHz値とする。
※2 相互変調、混変調は最大出力レベル時の値とする。(105dBμ/222MHz)